

26年8月16日

安全第一! 新聞



発行者
堀川 咲良

私の祖父は昭和35年から平成18年まで東急電鉄(電力区や電力指令所など)で働いていました。みんなに見えないところでお客様の安全を守るために日夜働いていた祖父の仕事について調べ、今回特別に電力指令室と軌陸車の見学をさせて頂きました。

電力区の仕事

電車で電気を送るトロッコ線の管理と照明など電気を使う設備に正しく電気が送られているかを定期的に点検する仕事です。

勤務時間
午前8時~午後5時
午後10時~午前4時

仕事での必需品
シメラー(電線をまっすぐ張るための道具)
ペンチ(電線を切るための道具) 、 ワイフ
モンキースパナ(ねじを締める道具) など

※トロッコ線とは
電気が通っている
架線のこと

		道路用	感想 ・一般的なトラックよりもはるかに大きかった。
		線路用	・リフトが付いている分、高さが高かった。

軌陸車

保守点検をするために
軌陸車 → 一般道路だけではなく線路上でも走ることが出来る作業車。リフトがついて高い所でも仕事ができる。
マイクロメーター → トロッコ線が細くなっていないかを確認するための道具
直流高速戻り断器 → ブレーカーと同じ働きで通常より大きい電流が流れた時に電流を遮断するための機械

電力指令所の仕事

28の変電所を24時間態勢で総合的に管理する仕事です。万一事故や停電が起きた時、予備設備に切り替えをし、電車の運行に支障が出ないようにしています。

勤務時間
午前9時~翌日午前9時
(途中仮眠あり)

東急電鉄で使う電気の量は?
約11万世帯分(大田区ぐらい)
その約95%が電車の動力として使われています。

感想
コンピューターはたくさんありましたが室内はとっても静かでした。

司令所の方にインタビュー!

Q1. 東日本大震災後の計画停電の時はどうしていたのですか?
→ A. 家庭や一般企業は計画停電の際、電気をとめたが、電車を停めて(あと大勢の人にめいわくがかかるので)電気はとめませんでした。

Q2. どうい気持で仕事をしていますか?
→ A. 達成感というよりは、みんなに見えない糸の下のお持ちとして、電車が運行できるように努めています。

Q3. 大変なことはありますか?
→ A. 24時間勤務なので、睡眠時間が足りないのが大変です。




H.26-8-16 見学

<おまけ!>
・東急電鉄
「電力指令所のご案内」
・相模鉄道
「各々の安全安心を教えてください」

おじいちゃんにインタビュー!

大変だったことは?
良かったことは?

	電力区 夏の暑い日の外での仕事は大変だった。多くの種類の自動車に乗ることができた。電気の基本的な勉強ができて良かった。
	電力指令所 24時間勤務なので食事を自分たちで作らなければいけなかったのが大変だった。変電所で働く人たちと仲良くすることができて良かった。

編集後記
人には見えないけれども、日夜私たちのために働く人々を取柄ることができて良かったです。祖父に感謝します。そして、見学させて頂いた電力指令所の方々、電力区の方々、おかげさまでいっしょにやりました。